

# 4月号 ふなきだより 特別版

## 特集 船木校区 中期ビジョン(地域計画)

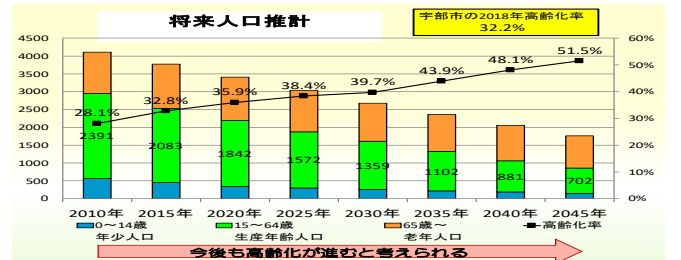
### 《令和元年度の実績報告》

船木校区コミュニティ推進協議会 令和2年3月20日

#### 背景・経緯

地域コミュニティの目的である『安心・安全で住みよい地域社会を築く』ため、平成27年7月から、地域の重要課題を中期ビジョンに反映し、将来さらに進む人口減少・高齢化に備えて、地域力向上と地域住民の自助意識の醸成に継がることを目指しスタートしました。なお、進捗状況は、1回/2ヵ月 開催するコミ理事会で共有しています。=今回の4月号特別版は、中期ビジョン最終年度の報告になります。

4月には5年間の総括を行い、次の5年間の第2期中期ビジョンを立案します。=



《30年後、船木の人口は半減、高齢化率は50%以上と推計されています。》

#### 【近年5年間の変化】

【H27.4 (2015)】 校区人口 3,820人 高齢化率 32.0% (世帯数 1,599世帯)	➡	【R2.1 (2020)】 校区人口 3,499人 (-319人) 高齢化率 36.0% (-4.0pt.) (世帯数 1,616世帯)
--	---	---

※2015年からの5年間は、ほぼ推計通りです。



### 校区スローガン

『住民は互いに尊重し、安心安全で住みよい地域社会を築こう』

テーマ①安心・安全の強化  
[災害対応体制]  
推進:【自主防災会・自治会連合会】  
[通学路の安全]  
推進:【ふれあい運動推進委員会等】

テーマ②高齢者の見守り強化  
[孤独死ゼロを目指す]  
推進:【支え合い会議】(コミ自治連・民生委員・市社協・地区社協・老人クラブ・包括支援チーム・福祉委員・ふれあいセンター)

テーマ③子育て支援強化  
[子育て世帯の負担軽減/新たに子育て世帯を呼び込む]  
推進:【子育て支援プロジェクト】(コミ自治連・ふれあい運動・子ども会・小PTA・支援チーム・ふれあいセンター)

テーマ④歴史ある船木にふさわしい  
継続できる新規行事の創出  
推進:【活性化懇話会】

### 【H31・R1年度実績】

#### テーマI 安心・安全の強化

推進: 自主防災会、自治会連合会  
通学路: ふれあい運動推進委員会 3/6

- 緊急連絡網・防災マップ・対策本部組織等の見直し
  - 緊急連絡網
    - 自主防災: 見直し完了(個人携帯電話の連絡網)
    - 各自治会: 50~60%完成度で引き続き取り組みが必要
  - 防災マップの見直しについて
    - 次年度に計画する
  - 対策本部組織
    - 避難所の開設訓練(8月31日 70名参加)
    - ※運営本部は現状とする
  - 防災備品の整備
    - 北在集会所 アルミ担架・リヤカー配備各1(県助成金活用)
    - 発電機用ガソリン携行缶購入配備
    - 災害時救急品期限切れ交換(減価ガゼ等)
    - 防災メール・固定電話発信サービス推奨
    - 継続展開
- 土砂災害警戒区域の情報伝達網・要援護者のフォロー体制
  - 土砂災害警戒区域の情報伝達網
    - 土砂災害レベル3(避難準備・高齢者避難開始)時に連絡可能
    - 土砂災害警戒区域対象者への研修会: 3月4日(水)18:30~ → コロナで中止
  - 要援護者のフォロー体制
    - 自主防災(民生委員協働): 要援護登録者10名についての体制完了
    - 各自治会: 緊急連絡網等、防災体制を協議して頂く
- 「防災だより」、「救急救命講習会」、「防災講演会」を推進
  - 防災だより(1回/毎月発行)
  - 救急救命講習(R1.6.22)
  - 防災講演会(R1.10.23)
  - 防災研修会(R1.8.31)
- 通学路の安全対策(ふれあい運動推進員等)
  - 「子ども110番の家」旗 寄贈式
    - 「子ども110番の家」旗 寄贈式
    - 「子ども110番の家」旗 寄贈式
  - 宇部西消防署出張所にて開催
    - 宇部西消防署出張所にて開催
    - 宇部西消防署出張所にて開催
  - 「命を守るための避難を考える」
    - 「命を守るための避難を考える」
    - 「命を守るための避難を考える」
  - 避難所の開設と運営
    - 避難所の開設と運営
    - 避難所の開設と運営

### まずは安全避難です

●令和3年度から運用開始の  
【防災屋外スピーカー】が設置される計画です。

●各自治会におかれましては、  
・緊急連絡網の整備(50~60%の完成度)等  
防災体制の協議をお願いします。

### 通学路の見守り強化

●安全見守り週間の  
「のぼり旗」を1週間に延長して地域との一体感を醸成します。(R2年3月より)  
(毎月第3水曜日 ⇨ 第3週の月~金曜日)

**【H31・R1年度実績】**  
**テーマII 高齢者の見守り強化** (コミュニティ推進協議会、自治連、民生委員、市社協、地区社協、老人クラブ、福祉委員、北部西高齢者総合相談センター、ふれあいセンター、支援チーム)

4/6

**1 見守りネットワーク強化**

**目標: 孤独死ゼロ**

H26 4件/155人 (2.58%)  
 H27 1件/155人 (0.65%)  
 H28 <施策展開> 実績0件  
 H29 半減(1.3%) 実績0件  
 H30 ゼロ 実績0件  
 H31・R1 ゼロ (実績0件)  
 ※分母は校区単居人数

(1) 事業者の協力による「船木あったか見守りネットワーク」拡大  
 加入事業者 33社 → 44社 (愛ネット 13社 → 14社)  
 (2) 各自治会での「ゆるやかな見守り体制」構築の推進加速  
 見守り対象者がいる全自治会の進捗度は約68%(下限値)

・見守り対象者が「いる」…28自治会、見守り体制が「できていない」…24自治会  
 ・見守り対象者が「わからない」、見守り体制が「できていない」…2自治会  
 ・調査票未回収…5自治会 (全自治会数は43)

●大船台での独居者の事故対応について、遺族から感謝の声があった…船木駐在所より

【(実績率)】	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度(目標)	H30年度(%)
特定高齢者	25.1	27	30.7	(27.8)	32.1
胃がん	29.8	22	22	(22.8)	14
腸がん	24.7	27	28	(27.2)	25
大腸がん	24.9	27	27	(27.4)	19
子宮がん	10.0	10	10	(13.0)	12
乳がん	10.7	15	11	(13.9)	11

【(H28実績)】 目標 H31・R1実績 【(実績)】 H31・R1実績  
 健康ウォーキング (182名) 200名 コロナで中止(182名申込) あったか 5部実行 (6部)  
 ふれあい健康大会 (75名) 90名 70名(ポッチャ4セット購入) だより (5部)  
 ふれあい運動会 (280名) 270名 本年度は雨天中止 サロンでの 7場所 (7場所)  
 健康長寿教室 470名(前年度実績) 500名 0回/年(前年度実績) 0回 ( ) 目標値

**3 情報交換会**  
 第3回『船木あったか見守り活動』情報交換会  
 R1.11.2開催  
 参加者: 50名 (事業者10名 関係者含む)

(1) 高齢者の見守り強化についての取り組み…コミュニティ推進協議会  
 (2) 介護保険申請・サービス利用等…北部西高齢者総合相談センター  
 (3) 元気なうちに財産管理を託すことが必要…山口銀行  
 (4) うそ電話詐欺・高齢者の飛び出し事故…船木駐在所  
 参加者からは「継続して開催してほしい!」の要望あり

**4 認知症サポーター養成講座**  
 (1) 地域住民対象  
 岡崎在住の光田慶先生が講演  
 講演: 「ひとごとではあきませんが、運にまかしていいと、どう対応するか、子どもたちが認知症、あなたの理解と支えを」  
 (2) 船木小学校の5・6年生対象  
 船木小学校の先生が講演  
 講演: 「認知症のおばあさんが運にまかしていいと、どう対応するか、子どもたちが認知症、あなたの理解と支えを」

R1.8.21実施 受講者: 64名  
 R1.10.17実施 受講者: 約100名(保護者含む)

**5 有償助け合いサービスの推進リーダー募集**  
 残念ながら応募者なし  
 ↓  
 高齢者対象のニーズ調査で、要望のあった「墓刈り、剪定等」の事業者を「船木あったか見守りネットワーク」に2社登録  
 北部西高齢者総合相談センター/中山間地域・保健福祉支援チームも必要時に対応

助成金活用 ポータブルDVDプレーヤー、ポッチャ(4セット)を購入

**■孤独死発生 (H26年4件・H27年1件発生したが、平成28年以降4年間ゼロを達成)**

①各自治会の「ゆるやかな見守り体制」の構築  
 見守り対象者がおられる自治会の完成度は、約70%です。

②事業者の「船木あったか見守りネットワーク」の推進 (44社)  
 ・①②それぞれ1件重大事故に対応することができた。

**■「ゆるやかな見守り体制」福祉だよりの手渡し活動**  
 各自治会におかれましては、福祉委員さんを中心に、推進協議をよろしくお願いします。

**■健康づくりプラン**

① 胃・肺・大腸ガンの受診率は、宇部市平均を上回りました。  
 ② ふれあい球技大会等は、「ふれあい健康ポイント」の効果、「新競技ポッチャ」を検討します。  
 ③ 健康民踊教室は、約500名/年の人々に元気を届けました。

**【H31年・R1年度実績】**  
**テーマIII 子育て支援強化** (コミュニティ推進協議会、自治連、ふれあい運動推進委員会、子ども会、PTA、ふれあいセンター、支援チーム)

5/6

**1 第3回七タコンテストの開催(ふるさと土曜夏祭り 8月3日実施)**

7タコンテスト終了後 → 展示した後、各自治会の夏祭りにも活用

5チームで保護者含め、100名が参加 地域活性化に大いに貢献した

**2 子ども会・PTAの困りごとと解決**

- 子ども会からの要望
  - ・岡崎八幡宮秋季大祭(10/20) 子ども神輿に地域団体より4名の協力あり。(次年度からの要請については、子ども会文化部から組織部→子育て支援プロジェクトで協議)
- PTAから
  - ・船木小学校の夏休み清掃作業(8/24)に学校運営協議会メンバー、地域団体、ボランティアなど9名の協力あり。
- 楠中学校から
  - ・技術家庭科での木工作業安全立会い…地域団体より3名(各2時間)の協力。

**3 学びの森とのコラボ行事の検討(夏休みの工作・学習宿題塾等)…ニーズ少なく中止。**  
 (夏休み期間中、学びの森くすのきでは様々な行事を企画している)

**4 学校運営協議会(コミスク関連行事)対応について…当面は要望対応とする。**

**◆「七タコンテスト」の開催**  
 くすのき商工会青年部主催の「土曜夏祭り」に合わせて開催し、多くの皆様に喜ばれました。また、コンテスト終了後は、各自治会の夏祭りに活用できました。

**◆困り事への対応**  
 子ども会やPTAの困り事に対応したが、子ども会への加入率の低減が心配されます。

**【スローガン】**  
**「一緒にぶちええ船木をつくろうや」!!**

**【H31・R1年度実績】**  
**テーマIV 歴史ある船木にふさわしい、継続できる新規行事の創出** 推進: 船木活性化懇話会

6/6

**1 史跡「千林尼石畳の清掃・整備(年2回開催)**

R1.5.25 総参加人数45名  
 中学生(教員含む) 26名

R1.11.9 総参加人数50名  
 中学生(教員含む) 30名

総参加人数60名  
 申込者数 38名  
 校区外の参加者 22名

**2 船木そばづくり体験(R1.11.17)**

●船木活性化懇話会メンバーのそば打ち研修

**3 石畳ウォーキング(新規: R1.10.14(体育の日)開催)**  
 厚東郷土史研究会とのコラボ行事 参加者: 34名  
 恒石八幡〜浄名寺〜千林尼石畳〜岡崎八幡宮 (全長6.5km)

助成金活用 チェーンソー、ブロー、ブロー収納ボックス、チャップス(脚カバー)、電動臼、電動ふるい台、調理道具(お玉、ザル)、真空パック機、揚げり包丁などを購入

**スローガンである「一緒にぶちええ船木をつくろうや」を合言葉に展開しています。**

▼史跡「千林尼の石畳」清掃・整備(2回/年)  
 中学生も多く参加し、史跡を守る重要性を継承しています。

▼「石畳ウォーキング」  
 厚東校区とのコラボで、「石畳ウォーキング」を開催しました。

「船木そばづくり体験」「石畳ウォーキング」の船木校区参加者が、全体の20~40%と少ないため、もっと多くの校区の方が参加していただけるよう考えて展開します。そして、更に幅広く新規テーマを考え推進します。

参加希望者は、船木ふれあいセンターに連絡してください。(67-1183)

**船木活性化懇話会メンバーは、一般公募です。だれでも参加できます。!!**

